

自然教育園見ごろ情報

2026年6月11日号

附属自然教育園

検索

詳しくはHPの「見ごろ情報」
をご覧ください
<https://ins.kahaku.go.jp/>



今週はここに注目!

ノカンゾウが
咲いています!



オカラノオ

日当たりの良い草地に生え、また垂れ下がった花序のようすを虎の尾に見立てたことが名前の由来です。葉や花の付け根は赤みを帯びています。

全域で見られます



ムラサキシジミの裏面



ムラサキシジミ

翅の表が青紫色、裏面は茶色でシミのような模様があります。成虫で越冬する蝶です。



ネジバナ

花のねじれたつき方が名前の由来。ランの仲間でごく普通に見られ、その可憐な姿で人々に親しまれています。是非探してみてください。



ハンゲショウ

葉の一部が白くなっているのが目立ちます。名前の由来は、半夏生（夏至から11日目）の頃に花が開き、葉が白くなるからという説や、半分化粧したような葉にちなむ説などがあります。ただ、園内のハンゲショウをよく観察すると、全く白くならない「すっぴん（化粧なし）」の葉もあります。



ノカンゾウ

野原や堤防などのやや湿った場所を好む植物で、橙赤色の花が群生する姿はとてもきれいです。若葉は甘みがあり、食用となります。花は早朝に開いて1日ではぼみます。



チダケサシ

小さくて可愛らしい花をたくさん咲かせています。乳茸刺（ちだけさし）の名前は、野山でとったチダケ（菌類の一種チチタケの地方名）をこの茎に刺して持ち運んだことによります。

武蔵野植物園や水生植物園で見られます



センリョウ

古くから日本庭園に栽培され、花びらのない小さな花を多数つけます。果実は11月ごろ赤くなり、お正月飾りとして有名です。



センリョウの実 (11~12月頃)



ムクロジ

地面に落ちている花の正体は、なんでしょう？答えはムクロジです。花は小さいですが、多量の蜜を出すため、たくさんの昆虫がやってきます。是非、上を見上げて、花を眺めてみてください。



ムクロジの花

天然記念物及び史跡

科博 自然教育園